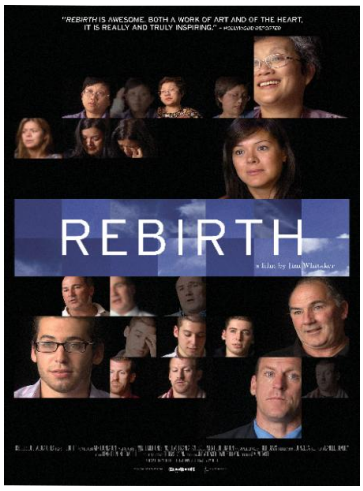
在福岡アメリカ領事館からのご案内

映画 『リバース』上映会＆監督トーク（逐次通訳付き）



映画「リバース」は 9/11 アメリカ同時多発テロの生存者、遺族らを追ったドキュメンタリー映画で、2011 年 1 月にサンダンス映画祭で初上映された。映画は 2002 年から 2009 年にかけて、世界貿易センタービルからの生存者、現場で友人を失った消防士、母親が犠牲となった高校生、婚約者を亡くした女性、そして兄弟を失ったのち跡地再建に携わる建設作業員の 5 人の人生を記録。悲しみや喪失感、心の傷を乗り越え立ち上がっていく彼らの姿が物語の主軸となっている。映画では同時に、世界貿易センタービル跡地の定点観測撮影を過去に類を見ない規模で敢行。現場とその周辺に最大で 14 台のカメラを設置し、再建の様子を 24 時間 365 日、7 年間にわたり克明に記録した。オリジナル楽曲はアメリカの著名作曲家フィリップ・グラスが担当。

日　時： **2012 年 10 月 23 日（火）**　　**17:00～20:00**　（終了後、ウィテカー監督を囲んで懇親会予定）

会　場： **福岡アメリカン・センター**　　福岡市中央区天神 2-2-67-8F　　Tel:092-761-6661

入　場： **無料**　（懇親会への参加も無料です）

定　員： **70 名（事前申し込み要）**。添付の FAX または E-mail にて 10 月 21 日までにお申し込み下さい。参加票等はございません。そのまま会場へお越し下さい。定員を満たした場合にのみ連絡いたします。

プロジェクト・リバース　創設者・代表　ジム・ウィテカー

「（映画に描かれた）再生への物語はすべての私たちとコミュニティーに関係するものだ」と話すウィテカー監督。トークでは映画に登場する人々がいかにして絶望の中に希望を見出し、自らの力を発揮して立ち上がっていったのかを語る。過去の惨事の教訓を将来に生かすとともに、人生にいつ降りかかるかもしれないさまざまな出来事にいかに備え、立ち向かえばいいかというテーマに取り組んでいる、この映画を中心に広がる活動についても言及。絶望から希望へと向けた個人とコミュニティーの再生という映画のメッセージを通し、震災後の日本へのエールを贈る。

上映＆監督トーク　参加申　【申込締切 10月21日（日）】

申込み先：　福岡アメリカン・センター　担当：宮石　（ファックス番号：092－721－0109）
※E-mail(FACprogram@state.gov)でのお申し込みも可能です。

氏名（ふりがな）　　連絡先電話（携帯番号も可）

＊上記個人情報は、本イベントの緊急時の連絡のみに使用します。

上映＆監督トーク　のみ参加　　・　懇親会まで参加　　（どちらかに丸をつけて下さい）

E-mail でお申し込みの場合も懇親会への参加・不参加を知らせて下さい。

映画 『リバース』 上映会＆監督トーク

10 月 23 日（火）　17:00－20:00
福岡アメリカン・センター
福岡市中央区天神 2-2-67　ソラリアパークサイドビル8階

福岡アメリカン・センターはソラリア・パークサイド・ビル８階にあり、警固神社と三越デパートとの間に位置します。三越デパートの５階から連絡通路を通りアメリカン・センターに来ることができます。

プロジェクト・リバース　創設者・代表　ジム・ウィテカー

ウォルト・ディズニー・スタジオ内のウィテカー・エンタテインメント代表兼プロデューサー。非営利団体の資金集めのためのドキュメンタリー製作をきっかけに映画の世界に入る。ジョージタウン大学時代の同級生の事故死をきっかけに製作した、飲酒運転撲滅を呼びかける公共広告『LOADED』で賞を受賞。イマジン・エンタテインメントにて『8 Mile』『アメリカン・ギャングスター』『プライド　栄光への絆』などを製作総指揮。9/11 後のニューヨークを訪れ再建と復興の記録を残そうと決意、プロジェクト・リバースを立ち上げる。

１０月２１日はもりおか映画祭 2012、翌２２日は東京国際映画祭での上映会及び監督トークに参加。